

# す た で い 須田 dy

(ふるさと・須田学習)



## 須田 dy(故郷学習)とは

「何のために学習しているのか？」への答えは様々です。しかし、各教科学習で身に付けた学力を、友だちと出し合い、身近な生活に生かすことを体験することも、その答えの一つになります。それが、**グランドデザインに挙げた「須田dy科(すたでいか) (ふるさと・須田学習)」**のねらいです。低学年は生活科の時間、中学年以上は総合的な学習の時間を使います。

各学年の学習テーマを基に、【調べる】【編集する】【発信する】の3つの学習活動を大切に指導します。

### 【調べる】では

探検、インタビューや書籍などから必要な情報を引き出す力を。  
(各教科学習で身に付けた学力を、意識して活用する場面づくり)

### 【編集する】では

集めた情報を、自分たちのテーマ(つまり、学習課題)から取捨選択する力を。  
(伝えたいことが、相手に伝わるための、複数の根拠を)

### 【発信する】では

だれに・なにを・どのように伝えるのか、相手意識をもって形(ポスター、カレンダー、劇など)にまとめ、外部に向けて発信する力を。  
(分かったことが、相手に伝わるための表現の工夫)

### <<各学年の須田dy科のテーマ>>

1年:だいすき すだたんけん

2年:須田すてき たんけんたい

3年:宣伝します! 須田ブランド梨

4年:須田を豊かに! 信濃川とともに

5年:発信! これからの須田米づくり

6年:対話の力! 加茂軍議から知恵探し

### ■「お陰様」と「お返し」の“縦軸思考”を育てる「須田 dy」

自分の住む「ふるさと」の姿は、先人や周りの人たちのたゆまぬ努力によって、維持・発展してきた結果であり(お陰様で)、「ふるさと」をよりよい未来につなげていくために、今何ができるか考え行動(お返し)することに、「ふるさと」を学ぶ意味や価値があります。別の言い方をすれば、「過去・現在・未来」の時間軸で物事を考える“縦軸思考”を育てることにつきます。そして、それは、自分の成長を見つめることにもつながります。他の人や、他の物、他の場所と単純に比べて、一喜一憂する”横軸思考”を超えるものです。

### ■キラキラ・ヒーローが、すぐ横に!

各教科学習で身に付けた知識や考え方を合わせ使う場面を意図的に作り、自分の生活を振り返ります。メディアの登場するキラキラ輝くヒーローのように、安全で過ごしやすい生活を支えているヒーローたちが、すぐ横にすることを再発見する学習です。須田にある施設で働く人、水から須田を守った人、そして、その水と須田の土から果物や米を生み出した名人など。つまり、「どこか」ではなくて、「ここ」にいるヒーロー探しとも言えるかもしれません。

小学校6年間の学習のまとめの6年生のテーマは、「加茂軍議」から学ぶ「対話の知恵」です。日本が2つに分かれて戦った「戊辰戦争」の分岐点「加茂軍議」の劇づくりを通して、当時の人たちの感じ方や考え方の違いを意識しつつ、自分の中に「ヒーロー」(問題を解決するための対話の知恵をもてる人)を作ることに挑戦します。

#### 「わたし」のまわりの「だいすき」なひと … 気付く 感じる

1年生の生活科の学習では、自分自身や身近な自然、人々について、様々な活動や体験を通して、地域の良さについて見つける学習を進めてきました。

##### ◆学習を通して子供たちに育てたいこと

入学以来、友だち・先生・地域の方と関わりを広げてきた子供たち。その中で、自分が多くの人から支えられていることに気付きました。すてきな地域の人たちへの感謝の気持ちを感じてほしいと考え、学習を進めています。



##### ◆いろいろな人からの支えに「気付く」

2年生や6年生から教えてもらった朝の準備で、自分のことは自分でしなければいけないことに気付きました。休み時間の6年生との楽しい遊び等、自分の学校生活を支えてくれる人たちが学校にいることに気付きました。



#### 「学校から地域へ」

… 活動を広げる・気付きを広げる

##### 地域のコミュニティセンターへ

須田コミュニティーセンターを訪問！大きなお風呂や、休める広い部屋、キッチンなどさまざま部屋がありました。館長の田浦さんにもインタビューをしました。

やさしくおしえてくれました。またきたい！

大きなお風呂。ちいきのひとがはいるね。おそうじをしているからきれいだね。

へやも広いし、そうじもたいへんだとおもいます。



はじめて知ったよ！友達のが好きな物！

朝の挨拶運動をしている「ひまわり会」の方は、いつも素敵な笑顔の挨拶をしてくださいます。「うれしい」「気持ちいい」「楽しい」「ありがとう」



学校に来て、いつもあいさつをしてくれる人がいる！ありがとう！

##### 【学習の流れ】生活科（30時間）

- 須田にはどんな人がいるのだろうか？
- ・教室にいる友達、学校にいる人は？
- 学校にくる地域の人ってどんな人かな？
- ・ひまわり会の人って？
- ・一緒に植えようチューリップ
- 地域に出てみよう（コミュニティセンター）
- 「だいすき すだカルタ」で感謝を伝えよう！

#### カルタで「だいすき すだ」発信！

… 「感じた」ことを伝える



今後、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを込めてカルタを作ります。カルタは配布します。

#### 【須田dy（ふるさと・須田学習）】

### 1年生「だいすき すだたんけん」カルタ



■えがおが いっぱい ひまわりかい

■いつも にこにこ ばすの うてんしゅさん

■ちいきの みんなと ちゅーりっぷ うえるの たのしいな

■なかよし ともだち

■ともだち だいすき1年生

■たたみが 48まい すごすぎだ

1年生にとっての地域は「人」とのつながりです。学校や地域の探検活動しながらみつめてきました。毎日お世話になる「バスの運転手さん」、登下校の安全を守る「ひまわり会の方々」、一緒に球根植えをした地域の方々。大人のなご顔を安心感、そして「ふるさと」につながります。そして、まわりへの視線は、自分たちの人間関係にも反映してきます。周りの大人との関係や友達との関係は、心の中の「ふるさと」像として重なり合っています。

# 須田 dy2 年生 すた で い

須田 すてきたんけんたい

## 「地域」のあたりまえにある「すてき」なもの … 気付く つなげる

2年生の生活科の学習では、自分の身の回りの自然、人、ものについて、関心をもってそれぞれとかかわる経験の中から、今まで気が付かなかった地域のよさに目を向ける活動を行ってきました。これまでの学習は、次のとおりです。

### 【学習の流れ】 生活科 (20時間)

- 須田のすてきなところはどこだろう？
- 大勢の人たちが「須田コミュニティセンター」に来るのは、お風呂に入りに来るため？
- 須田の美味しい果物は、どうする？どこに？だれが売る？
- あそびの広場は、子供たちが遊ぶための場所？
- 須田のすてきを入れたカレンダーにしよう！

### すてきな人やものに「気付く」

須田地域にある施設を実際に訪ね、働いている人や訪れた人等「ひと」に着目して、お話を聴いたり質問したりするして、「すてき」をたくさんあることに気が付きました。



須田コミュニティセンター見学

## 「須田の人たちが集うすてきなところへ…つなぐ

### 「須田のすてき」果物が集まる選果場

須田のすてきな「果物づくり」が集まる須田選果場を探検！その果物をもっとすてきにするために、どんなことをしているのか調べました。「おいしさや大きさを機械で分けているよ」「桃・梨は県外にも送り出しているよ」等、目に見える情報をつないで気付いた「須田すてき」は、果物と丁寧にかかわる人たちでした。



須田選果場の見学

### おなじみの「あそびと憩いの広場」にも知らないことがあった！

園児の頃から遊んでいる施設ですが、知らない働きがありました。お母さんたちの相談にのる「子育て支援センター」です。お母さん同士も友達になれるそうです。そのほか、働く人たちの休む場所にも！ 他の人の立場につないで「すてき」発見



あそびと憩いの広場の見学

## カレンダーで「すてき須田」発信！

### 一年間の学びを「伝えたい」



調理室や、大広間、そして、お風呂があるコミュニティセンターは、楽しむだけでなく、災害の際に助け合う所にも使われていることにも気付いた子供たち！須田のすてきなところを盛り込んだ来年度のカレンダーは、これまで学習でお世話になった場所に掲示していただく予定です。「須田すてき」をたくさん「伝えたい」です。

## 【須田dy (ふるさと・須田学習)】

## 2年生「須田 すてきたんけんたい」カレンダー

あそびの広場

須田のすてきを見つけたよ！

須田選果場

須田コミセン

須田のすてきを見つけたよ！

須田のすてきを見つけたよ！

2年生の生活科の学習では、自分の身の回りの自然、人、ものについて、関心をもってそれぞれとかかわる経験の中から、今まで気が付かなかった地域のよさに目を向ける活動を行ってきました。須田地域にある施設を実際に訪ね、働いている人や訪れた人等「ひと」に着目して、お話を聴いたり質問したりするして、集めた情報を、須田の「すてき」につないで気付いたことをカレンダーにまとめました。自分たちだけでなく、赤ちゃんやお年寄りまで幅の広い人たちを対象に役立っていること、通常の利用だけでなく、災害時の場所としても役立っている等、多面的な理解を深めることができました。

# 須田dy3年生 すたでい

## 宣伝します！ 須田ブランド梨

### 「地域」を知るために身に付ける力 … おきかえる つなげる

3年生からスタートした社会科の学習では、「加茂の主な特徴」と「加茂で働く人々の努力や工夫」を学習します。これまでの学習は、次のとおりです。

#### 1学期…情報をべつのものに「おきかえる」

3年生の子供たちは、地域探検という実体験から、様々な具体的な発見をします。

しかし、このままでは、「個々の発見」で終わってしまいます。

そこで、発見したことを地図記号や色分けをしたりして地図に「おきかえる」ことで、地域の様子を一般化（ここは畑が多いなど）してとらえることを学びました。

#### 2学期…情報と「情報」を「つなげる」

自分の生活を支えるスーパーマーケットの見学でも、個々の気づきを、「他地域や働く人の努力や工夫」と、「つなげる」ことで、「つなげる」ことを学びました。

考えを整理することを学びました。考えを深める学力として大切に育てていきたいです。



### 「須田の梨・ふしぎ発見」へ

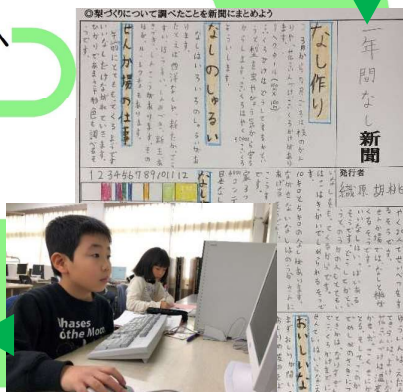
…学んだことを「つたえる」

#### 「わかった（つもり）から「伝える」へ

最も関心を寄せたのが、ふるさと・須田で盛んな「梨づくり」。普段から口にするものが多く、給食にも梨は登場することもありました。



でも、実際の梨畑では、初めて知ることがたくさん！形や色の違う品種。実を包む袋も異なることなど。まさに「須田の梨・ふしぎ発見」の連続でした。



梨畑の見学、農家の人へのインタビュー、副読本、足りない情報はインターネットを使って新聞作りの挑戦しました！

### ポスターで「梨の魅力」発信！…「伝える」から「伝わる」へ

今後は、梨の特徴を盛り込んだポスター作りに取り組む予定です。市役所などの公共施設にポスターの掲示を依頼し、須田のブランド梨の魅力が外部の人に「伝わる」活動へとつなげていきます。

#### 【学習の流れ】 総合的な学習の時間（15時間）

- 須田ではどんな梨が生産されているのか。
- それぞれの梨はどのような特徴があるのか。
- なぜ須田では梨づくりが盛んなのか。
- 須田の梨を紹介するポスターを作ろう。

【須田dy（ふるさと・須田学習）】

## 3年生「宣伝します！ 須田ブランド梨」ポスター

須田の梨はおいしいよ

幸水 果肉はやわらかく多汁で甘みが強い

豊水 果汁が多く糖酸が高い。酸味もある濃厚

新美月 濃厚な甘さとさわやかな酸味のバランスがよい

新王 スイーツのような甘さとサクとした食感。味わい深い甘みが強い

あきづき 果肉はちみつてやわらかくとてもジューシー。酸味が少なく甘みが強い

新高 果肉は白く多汁でやわらかい。酸味が少なく甘みを感じる

新興 果肉はジューシーとした食感。ほどよい甘さとやわらかい果肉がおいしい

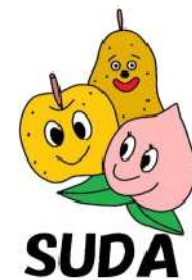
レリクを 甘味が強くとてもやわらかい。とろけるようなめらかな口当たり

| 梨の品種 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|-----|-----|-----|
| 幸水   |    |    |     |     |     |
| 豊水   |    |    |     |     |     |
| 新美月  |    |    |     |     |     |
| 新王   |    |    |     |     |     |
| あきづき |    |    |     |     |     |
| 新高   |    |    |     |     |     |
| 新興   |    |    |     |     |     |
| レリクを |    |    |     |     |     |

須田は信濃川を中心に肥沃な土地が広がっており、果物の生産が盛んです。夏から秋にかけて様々な梨が味わえます。

3年生がこれまで調べてきた須田の果物づくりを、一枚のポスターにまとめ上げました。須田で作られている梨の品種と味の特徴、出荷時期など、これ一枚で「須田の梨をまるごと味わえる」ポスターです。3年生の子供たちが4枚を作成しました。デザイン構成は同じですが、梨の微妙な色合いの違いや、ポスター中心に位置する「信濃川の流れ」のイメージに若干の違いがあります。

一番おいしい梨



# 須田dy4年生 すたでい

## 須田を豊かに！ 信濃川とともに

### 「身近な地域」の大切さに意識を向ける … ふりかえる つなげる

4年生の社会科学学習では、多くの人たちによって暮らしが支えられていることを、健康（水・ごみ）や安全（交通安全・防災）から学びます。それを受け、「前はどうかだったの？」と、昔の人たちの努力や工夫について「ふりかえる」とともに、より豊かな未来のくらしに「つなげる」アイデアを考え出します。これまでの学習は、次のとおりです。

#### 信濃川を意識するために「ふりかえる」

家族など身近な人からの取材から始まった4年生の信濃川学習。「日本一長い川！」「昔は氾濫ばかり」「（でも）土がふかふかになって、美味しい果物ができる」等、過去にも目を向けた情報も集まりました。この活動の中から、「そういうえば、信濃川をちゃんと見たことってないかも」というつぶやきが！  
身近すぎることは、大切さやよさを意識する上では、かえって「壁」にもなります。

#### 信濃川と私たちの生活を「かかわらせる」

「大島頭首工と白根排水機場」は、全く正反対の役目だ！ 須田地区の農業用水にも使う水をくみ上げる「頭首工」。機械で雨を川に排水する「排水機場」。須田も含まれる「白根郷」の土地の低さとの関係を、施設の方から教えてもらいました。



大島頭首工の見学

### 「須田の洪水との戦い」へ

… 学んだことを「つたえる」

#### 「わかった（つもり）」から「伝える」へ

社会科「郷土の発展～洪水を防ぐために～」の学習で、大河津分水資料館に見学！信濃川につながっている大河津分水路が、須田地区も大水から守っていることあって、真剣に説明を聞く子供たち。

国語学習で身に付けた「メモの工夫」をフルに活用して、学習カードはびっしり！重要情報をゲット！



（立体模型を触って）空から見ると、新潟平野は平らだね。須田は……。

これは、大変だ300年に70回以上の大水が起きている！

「これは、自分たちが住んでいる土地に流れている川のことなんだ！」

資料集から、信濃川の氾濫回数に驚き、五反田や北潟の地名を見つけた子供たち。資料に自分たちの意識を引き寄せてきました。

### パンフレットで「安全な須田」を発信！ 「つたえる」

「昔の人は、どうやって大水を防いだんだろう？」

「自分たちが住む須田で、みんなが、より安全に暮らせるために、自分たちにできることがあるとしたら、どんなことだろうか？」4年生の学びの足跡を、パンフレットでつたえる予定です。

#### 【学習の流れ】（20時間）

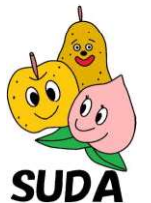
- 須田にとっての信濃川って どんな川？
- 「大島頭首工」「排水機場」は何のため？
- 信濃川と須田 ～昔と今～
- より安全に暮らすために、できることは？
- 考えたことを、ポスターで伝えよう！

## 4年生「須田を豊かに！ 信濃川とともに」



4年生がこれまで調べてきた地域の防災について、一枚のパンフレットにまとめ上げました。加茂市から配布された「加茂市洪水ハザードマップ」をもとに、「もしも」（主に大水）の時に避難する場所を子供たちは話し合いました。その際、社会科学学習と関連付け、須田地域で発生したこれまでの「大水の歴史」や、関係施設「大河津分水」について見学学習をしてきたことと関連づけながら検討しました。

「防災」というと、危険から身を守ることのみが強調されますが、もう一つの側面「恵み」についても複眼的に学習をしてきました。具体的には、負の「大水」が変えた須田の地形を、美田や果物作りを生かしてきた須田地域の先人たちの知恵に知恵についても触れています。



# 須田dy 5年生 すたでい

## 須田の米作りから学ぼう

### 「地域」を知るために身に付ける力 … おきかえる つなげる

5年生の社会科の学習では、私たちの暮らしを支える産業について学習します。3年生では「食生活を支える人」に視点があるのに比べ、「人から仕事へ」と視野を広げていきます。須田小5年生は、「須田の米作り」から食生活を見つめ直す学習をしてきました。

#### わかっているようでわからない米作り

米作りをしているようで知らないことがたくさんあることがはっきりとしました。

そこで、須田小校区にお住まいの間さんが代表をされている「ロータス北湯」の皆さんやJA南蒲の皆さんから指導を受けながら米作りを行うこと。



田植えの仕方学ぶ

#### 2学期…情報と「情報」を「つなげる」

5月10日(金)晴天。ほとんど田植え体験の子もたちは、素足で田んぼに入ることや田んぼの中を歩くことにも一苦労。



田植え体験

目印に合わせて植えるだけなのに…。その後、実際に機械植えも見学しました。

### 須田米から学んだ「収穫」 … 学びをつなぐ

#### 4つの学習テーマで調べたことも「収穫」!

11月15日(金)、お世話になった間さん、保護者を招いての収穫祭で発表しました。収穫米を使った「おむすび」を、お汁と一緒に召し上がっていただきました。4つのテーマ(『お米の一年間』『米の品種』『お米の始まり』『米作りの進化』)で学習発表をしました。間さんからとてもよく調べていて素晴らしいと、お褒めの言葉をいただきました。

#### 収穫感謝と学習発表



収穫感謝と学習発表

#### 「一粒の米」の大切さ つなげる

9月13日(金)晴天。田植えの時と同様に指導を受け稲刈り体験をしました。手作業での腰の痛みと機械化の利便性は、田植え体験と重なります。さらに、一粒の米から始まった米作りは、最後の一粒の米まで大切に「落ち穂拾い」に続きます。食生活を支える日本農業の特色につながります。



稲刈り体験

### カレンダーで「須田米」発信! … 伝える

最後に、一年間、米作りを通して教えていただいたり、調べたりして学んできたことをもとに、ふるさと須田の米作りのカレンダーを作っていきます。

日本の農業の特色を、須田の米づくりから伝える活動へとつなげていきます。



お米お先生 間さんと集合写真

## 【須田dy (ふるさと・須田学習)】 米作りこよみ 5年生「須田の米作りから学ぼう」

【他品種】  
消費者の好みに合わせた好め品種を作っている

### 須田の米作りカレンダー



2019/5/1 田植え体験



2019/6/15 稲の観察



2019/9/13 稲刈り体験

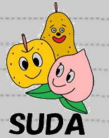


2019/11/15 感謝祭

【水管理】  
田んぼの水の高さ(量)で、成長を細かく管理している

【作業時期のずれ】  
品種によって作業時期がずれている(農家の人たちの作業が集中しない)

【農業に頼らない】  
水の管理で、雑草が増えることを防いでいる



SUDA

須田小5年生は、「須田の米作り」から食生活を見つめ直す学習をしてきました。須田地域にある田んぼで、お米の先生からの指導をうけながら体験活動をしたり、自分たちでテーマ(『お米の一年間』『米の品種』『お米の始まり』『米作りの進化』)を決め調べたりしながら集めた多くの情報をつなぎ、食生活を支える日本農業の姿について学習してきたことを、「米作りこよみ」にまとめました。

2019/11/15 感謝祭(学習発表会)  
間さん(田んぼの先生)と保護者を囲んで



# 須田 dy 6 年生

## 対話の力！加茂軍議から知恵探し

### 「考え」をすっきり整理する力 … 比べる(対比) おきかえる

先人の知恵が宝庫である歴史から、現在そして将来の生活に生かすことができることに気付いてほしいと考えています。現在の日本の形を変えるきっかけにもなった150年前の「戊辰戦争」。その方向性を決めた加茂軍議を教材にした学習の足跡まとめました。

#### 見えない背景をすっきり整理する「比べる」

人と人が対立する原因の中にこそ、対話的な生き方のための知恵が詰まっています。戊辰戦争当時の状況図を基に、対立点を比べ整理する中で「大名格差からの不満」や「義(生き方)と理(考え方)の違い」など、考えを整理できました。



学習パンフレット「義か理か」

#### 資料とミニ劇で深める力 「おきかえる」

新政府・幕府側の新しい国家像【考え方】を比較！さらに、ミニ劇【生き方の違い】を加えて、両者の違いを際立たせました。ここで「(例えば)今と比べたら？」と「おきかえる」問いで「最終決定者が一人」という共通点に気づき、対立ではなく、違いと捉えることで、対話に繋がることを学びました



歴史事象のミニ劇

### 「対立を違いに、そして対話」へ

… 歴史から学んだ知恵を、生活に生かすため

過去を今におきかえて考えさせることで共通点も見えてくる。この考え方が対話的解決につながる

#### 加茂軍議で知恵を検討 … 「根拠+予測」

小千谷談判から採出した知恵が「加茂軍議で生かされたのか」、ミニ劇を通じて検討しました。一言で話し合いの流れが変わることがあります。この会議でも「(新政府軍)への抗戦」に急変した部分を中心に考え合いました。子供からの意見は、前時の②



考えを共有するミニ劇

「河井の主張の根拠を問う」や④「もしそうしたら～予測する」で、より冷静な判断ができた等。

#### 小千谷談判からの知恵探し！…多様な考えを収束

加茂軍議前にあった「小千谷談判」を教材に、時代背景を資料で理解し、ミニ劇で内容理解を深めました。子供から出てきた知恵を大きく4つに分類！

#### 【対話のための4つの知恵】

- ① 幕長岡藩：もっと早く決める
- ② 幕河井：相手が言う内容を考えて言う
- ③ 新岩村：上の(強い)立場なら、きつく言わない
- ④ 新岩村：相手の考えを取り入れる

グループ毎のミニ劇では、台本に感じたことを自由に書き込む。

### 劇で「対話」の知恵を発表！… 伝わる

今後は、「義」(生き方)や「理」(考え方)という価値観の違いから生まれる様々な問題を解決するための知恵を、歴史劇「加茂軍議」の中に組み込んで、学んだことが「伝わる」ように学習していきます。

#### 【学習の流れ】(10時間)

- 150年前の対立の原因
- 河井継之助の考えで解決できたか
- 加茂軍議を再現！～どこに問題が？
- 対話で解決！～加茂軍議からの知恵探し
- 学んだことを劇で表現！



# 6年生「対話の力！加茂軍議から知恵探し」



発表目的をナレーションする子供達



当時の須田を納めていた新発田藩の視点から対話の必要性を訴える



小千谷談判を通じた対話の知恵～相手の考えを受け入れること



加茂軍議を通じた対話の知恵～相手の考えを受け入れる際に、根拠を確かめる、どうなるか予測する、相手をリスペクトする「対話の公式」につなぐ

## 須田 dy (ふるさと・須田学習) 学習劇発表会

# 「対立から対話へ」

～加茂軍議から学ぶ

## 20人の対話の知恵探し～

須田小学校6年生20名による学習劇

150年以上前、加茂で行われた加茂軍議！新高、日本のたちを変えた2回の会議とは？前後の戊辰戦争の歴史的事実を踏まえながら、歴史から学ぶ「対話の知恵」について学んだことを、劇で表現します！

◆日時 令和2年2月20日(木) 11:30  
◆会場 須田小学校 体育館

「ふるさと・須田」のこのことを知る意味や価値は何でしょうか。須田小では、次のように考えています。

#### ■「本意探」と「お返し」の「縦軸思考」を育てる「須田dy」

自分の住む「ふるさと」の姿は、先人や周りの人たちのたゆまぬ努力によって、維持・発展してきた結果であり(お陰様で)、「ふるさと」をよりよい未来につなげていくために、今何ができるか考え行動(お返し)することが、今の自分たちの手にあります。別の言い方をすれば、「過去・現在・未来」の時間軸で物事を考える「縦軸思考」を育てることです。そのことは、自分自身の成長を見つめることにもなります。他の人や、他の物、他の場所と単純に比べて、一喜一憂する”横軸思考”を超える大切な考え方です。

このような考え方を育てることが須田dyの目標です。メディアに登場するキラキラ輝くヒーローのように、安全で通しやすい生活を支えている素敵な人たちが、すぐ横にいることを再発見していきます。例えば、須田の施設で働く人、水害から須田を守る人々、そして、その水と須田の土から黒物や米を生み出す名人。「どこか」ではなく、「ここ」にいるヒーロー探しとも言えるかもしれません。

小学校6年間の学習のまとめの6年生のテーマは、「加茂軍議」から学ぶ「対話の知恵」です。日本が2つに分かれて戦った「戊辰戦争」の分岐点「加茂軍議」の劇づくりを通して、当時の人たちの感じ方や考え方の違いを意識しつつ、自分の中に「ヒーロー」(対話で問題を解決する人)を作ることに挑戦します。

#### ■学習目的等を保護者や地域に広報した、

須田 dy 学習劇ポスター

6年生の学習テーマは、対話で物事を解決するための知恵探しです。自分の考えを言うだけの話し合いではなく、自分の考えだけでなく、相手の考えも確かめ、より確かな考えを作り上げることのよさを、150年前の戊辰戦争の際の「加茂軍議」をベースに学習劇にしました。

劇中に、当時の社会制度(大名制度)を基にした身分制度を、実生活の人間関係に置き換え、小千谷談判、加茂軍議の内容を、記録資料を基に再現しました。劇中には、「歴史の知恵仙人」として、学習を通して導き出した「対話の知恵」を織り交ぜた演出をしました。そのことで、自分の考えを分かり易く伝えることを、より意識することができました。